

あんなこと、こんなこと

関市イメージキャラクター
「関☆はもみん」



9月16日～30日にあった
市内の話題を中心に
ご紹介します。

国体前に国道沿い清掃

関商工会議所建設部会が、ぎふ清流国体開幕前の9月26日、国体への支援活動として、国道248号線沿いの草刈りボランティアを実施しました。会員約50人が参加して、栄町3丁目から西福野町1丁目交差点まで約700mの間を、草刈り機を使って雑草を刈り取ったほか、散乱していた空き缶などを拾い集めました。市内外から訪れる選手や関係者を気持ちよくお迎えするため、市街地の玄関口をきれいにしました。



ピアノで全国金賞

8月に東京都で行われた「第36回ピティナ・ピアノコンペティション」で、見事金賞に輝いた木村有我君（下有知小6年）が9月24日、市役所で受賞報告をしました。木村君は、昨年エレクトーンでも最優秀賞を受賞し、今回はピアノでの受賞。週2回のレッスンと夏休みの1日5時間以上の特訓で技術を磨きました。「自分のタッチで、音が変わるのがピアノの魅力」と話す木村君。次の目標に向かって、挑戦を続けます。



安桜小しょうゆ塾

9月28日、身近な調味料の「しょうゆ」について学び、食べ物の大切さなどを考える出前講座が安桜小学校で開かれ、4年生児童が受講しました。食育教育の一環で、食品加工会社の社員を講師に迎え、しょうゆの原材料や製造工程、味や香り、働きなどについて、スクリーンや実物を見て学習。最後に、みんなで楽しく食事したり、料理をお手伝いすることがおいしく食べるためにとっても大切であることを確認しました。



白鳥板取線保木口工区開通

主要地方道白鳥板取線の保木口第1工区が完成し9月28日、関係者や地元住民約80人が集まって完成式典を行いました。地元の板取めばえ保育園児らのミナモダダンスの披露、テープカットに続き、参加者全員で渡り初めをしてお祝いしました。これにより、板取地内の幅員狭小区間が改良され、観光や産業振興の発展はもとより、災害時における孤立集落や雨量規制区間の解消による円滑な交通の確保が期待されます。



国体を記念して鍛刀

国体の開催を記念して、関伝日本刀鍛錬技術保存会・刀匠会会長である吉田研さん（刀匠名・兼久＝富加町）が長良川河川敷で取れた砂鉄を使って、日本刀1振を制作。9月24日、市役所を訪れて尾関市長に完成の報告をしました。刀は、長さ58.3センチの脇差で、「濃州関兼久作 以長良川砂鉄製鉄鍋 ぎふ清流国体ぎふ清流大会 記念之」の銘文が入っています。剣道会場に展示して、県内外の多くの方に刃物のまちをPRしました。



交通事故防止をアピール

秋の全国交通安全運動実施期間（9月21日～30日）の初日、交通安全街頭指導所が関市文化会館駐車場に設置され、シートベルトの着用や飲酒運転の撲滅などについて啓発しました。この日は、中村副市長が先頭に立ち、中濃地区交通安全協会関係者が参加して、反射リストバンドや交通安全メモ帳などを配布しました。秋空の下、ドライバーの方に意識の向上と事故のないまちづくりを呼びかけました。



秋の夜長をゆったりと

秋の夜長を、行灯の灯りが醸し出す幻想的な雰囲気の中で過ごす「名月と萩の夕べ」が9月29日の夜、市役所・アトリウムで開催されました。コンサートでは、サクソフォンデュオと同イベントでは初めて雅楽の演奏が行われたほか、ソプラノ歌手による協演もあり、約300人の来場者が演奏に酔いしれました。日ごろの慌ただしさを忘れ、行灯に書かれた短歌や俳句などの作品を眺めながら、音楽に親しみました。

こぼれ話

感動と興奮の国体も無事に閉幕。秋も深まり、木々が色づき始めるころとなりました。川浦溪谷や清兵衛渚など、市内には多くの紅葉スポットがあり、私もカメラを持って出かけ、見る景色を楽しみにしています。

中でも、安桜公園（常盤町）のシンボルツリーとして、ひと際大きくそびえ立つイチョウの木が、多くの市民の目を楽しませています。今から5年前、同公園は樹木が生い茂ってうす暗かったため、明るくなるよう再整備時に伐採しました。数本あったイチョウは、落ち葉も多く全て伐採する予定でしたが、長年にわたり育ち立派になった木を切ってしまうのは忍びないと地域の声と理解もあり、中央に位置し樹形も良い木を唯一残すこととなったものです。地域の有志でイルミネーションを飾ったり、周りを小山にして多くの子どもたちが木登りをするようになるなど、地域に親しまれています。

公園の樹木や街路樹は、四季を感じられる落葉樹も多く使用され、落ち葉の苦情もありマイナスイメージも強くある中、市民の皆さんの憩いや癒しの場、景観の形成に役立っていることを改めて実感することができました。この秋、皆さんお気に入りの場所へ紅葉狩りに出かけてみませんか。

